



報道機関 各位

記者発表資料  
平成 30 年 5 月 16 日（水）  
問い合わせ先：  
国際芸術祭開催準備室  
担当：藤田・臼井・細田  
電話：829-1225  
内線：2815

## さいたま国際芸術祭

### 第 4 回さいたま・アート・フォーラム（有識者会議）を開催します

平成 32 年春の開催を目指す、さいたま国際芸術祭の基本構想や開催計画などについて、市民に広く開かれた場において議論を行うため、下記のとおり第 4 回さいたま・アート・フォーラム（有識者会議）を開催いたしますので、お知らせします。

## 記

### 1 日時

平成 30 年 5 月 23 日（水） 午後 6 時 30 分から午後 8 時 30 分まで

### 2 場所

さいたまスーパーアリーナ TOIRO SPACE4  
（埼玉県さいたま市中央区新都心 8 番地 4 階）



### 3 観覧方法

さいたま・アート・フォーラムの観覧を御希望の方は、当日、直接会場へお越しください。

- ・費用 無料（出入り自由）
- ・定員 50 名（申し込み不要、先着順）

### 4 テーマ

さいたま国際芸術祭開催計画案について

## 5 有識者会議構成員（第4回開催時点）

<p><b>議長：芹沢 高志</b></p>  <p>P3 art and environment 統括ディレクター、さいたま国際芸術祭実行委員会参与</p> <p>「横浜トリエンナーレ 2005」、「混浴温泉世界」、「さいたまトリエンナーレ 2016」など、地域のアートプロジェクトに関わるとともに、2012 年からはデザイン・クリエイティブセンター神戸のセンター長を務める。</p>	<p><b>石上 城行</b></p>  <p>国立大学法人埼玉大学教育学部准教授</p> <p>1968 年東京生まれ、東京藝術大学大学院修士課程彫刻専攻修了。学生時代より人物や家などをモチーフとする彫刻作品の制作をおこなってきた。2000 年代からは、ワークショップやアートプロジェクトの企画運営など社会とアートをつなぐ取り組みに携わっている。</p>
<p><b>小沢 剛</b></p>  <p>美術家、東京藝術大学美術学部教授</p> <p>1965 年東京生まれ。東京芸術大学在学中から、風景の中に自作の地蔵を建立し、写真に収める《地蔵建立》開始。93 年から牛乳箱を用いた超小型移動式ギャラリー《なすび画廊》や《相談芸術》を開始。99 年には日本美術史の名作を醤油でリメイクした《醤油画資料館》を制作。2001 年より女性が野菜で出来た武器を持つポートレート写真のシリーズ《ベジタブル・ウェポン》を制作。2004 年に個展「同時に答える Yes と No!」（森美術館）、09 年に個展「透明ランナーは走りつづける」（広島市現代美術館）を開催。13 年には「光のない。（プロローグ?）」（作：エルフリーデ・イエリネク）において、初めて舞台演出、美術を手がける。13 年より、歴史上の実在する人物を題材に、事実とフィクションを重ね合わせ、物語を構築する「帰って来た」シリーズを制作。</p>	<p><b>澤田 英行</b></p>  <p>芝浦工業大学システム理工学部教授</p> <p>1962 年京都生まれ。芝浦工業大学、同大学院修了後、鹿島建設に勤務。様々な建築設計に携わる。BIM・ICT を活用した建築・地域デザイン、協働設計手法の研究に従事。</p>
<p><b>遠山 昇司</b></p>  <p>映画監督、プロデューサー、さいたま国際芸術祭ディレクター</p> <p>1984 年、熊本県生まれ。法政大学国際文化学部卒業。ポストン大学留学。早稲田大学大学院国際情報通信研究科修了。映画作品『NOT LONG, AT NIGHT -夜はながくない-』『マジックユーロピア』『冬の蝶』などで監督・脚本を務めており、国内外の映画祭において高い評価を得ている。現在、アートプロジェクト『鮫ヶ浦水曜日郵便局』『ポイントホープ』のディレクターを務めている。</p>	<p><b>松田 法子</b></p>  <p>京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 専任講師</p> <p>建築史・都市史。民家・町並みから集落・大都市まで、建築と集住体のフィールドワークを幅広く行う。近年は地形・水質・水系などと地域史を複合させた広域なエリアスタディにも取り組む。さいたまトリエンナーレ 2016「さいたまスタディーズ」に参加。</p>
<p><b>松永 康</b></p>  <p>NPO 法人コンテンポラリーアートジャパン理事、さいたま国際芸術祭市民プロジェクト・キュレーター</p> <p>1957 年、埼玉県に生まれる。'81 年、武蔵野美術大学造形学部油絵科卒業。'81~2002 年、埼玉県立近代美術館（設立準備室より）学芸員。'02~'03 年、国際芸術センター青森統括学芸員。'04~'06 年、横浜美術短期大学（現・横浜美術大学）アートマネジメント専修非常勤講師。'06~'07 年、井 Art Gallery（上海）芸術監督。'09 年~、NPO 法人コンテンポラリーアートジャパン理事。'12 年~武蔵野美術大学通信教育課程非常勤講師</p>	<p><b>大西 起由</b></p> <p>さいたま国際芸術祭実行委員会事務局長（さいたま市スポーツ文化局文化部長）</p>